

こんにちは！印南町子育て世代包括支援センターです！！
今回は「妊娠中の母子感染」についてお伝えさせていただきます。



— 知って得するまめ知識！ —
「妊娠中の母子感染」

- ① 体内感染…赤ちゃんがお腹の中で感染
- ② 産道感染…分娩開始後に産道を通る際に感染
- ③ 母乳感染…母乳を介して感染

ここでは体内感染についてお伝えします。

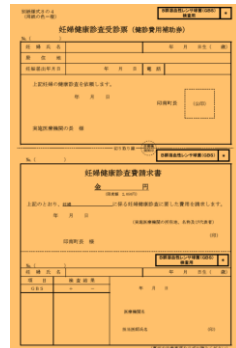
ママが妊娠中にウイルスや細菌に感染すると、母親の血液から胎盤を通じて胎児が感染することがあり、生まれてくる前に体内で感染（先天性感染）することになります。生まれてきた時には赤ちゃんはもうすでに何らかのウイルスや細菌、原虫に感染している状態にあります。

なかには重い障がいを引き起こすものもあります。妊娠中の感染予防のための注意事項を挙げますので、是非参考にしてください。

- ① 石鹸と流水でしっかり手を洗う
- ② 子どもとフォークや食器を共有しない
- ③ お肉は中心部まで加熱する
加熱が不十分なものは食べない
- ④ 殺菌されていないミルクや乳製品は避ける
- ⑤ 猫のトイレなどに素手で触れない
(猫の糞にはトキソプラズマなど有害な細菌や寄生虫が含まれている可能性があります)
- ⑥ びっ歯類(ネズミの仲間)やその排泄物に触れない
- ⑦ 妊娠中の性行為にはコンドームを使う
(サイトメガロウイルスや単純ヘルペスウイルス、クラミジアなどに感染することがあり、これらは赤ちゃんに悪影響を及ぼす恐れがあります)

⑩ 母子感染の原因となる感染症にかかる検査
自分が現在何らかの感染症にかかっている可能性はないか、どういった病気に対して免疫をもっているかを把握して、予防に役立てるためにも検査は必要です。

⑨ B群溶血性連鎖球菌(GBS)の検査
妊婦健診受診票の中のおしんじ色の紙でGBS検査ができます。



⑩ ワクチン接種(※妊娠前)
妊婦健診で抗体が低かったママは**出産後に**接種をおすすめします。また、「妊娠している女性の配偶者」もこの機会に是非ご検討ください！



厚労省HPより抜粋



⑪ 感染している人との接触を避けましょう
特にサイトメガロウイルスとトキソプラズマは気を付けることで予防できます。

【サイトメガロウイルス】
子どもの唾液や尿に多く含まれています。成人の半数以上は既に感染し、免疫をもっていますが、胎児に感染すると、流産・死産、出生後の健康上の問題が生じる恐れがあります。

妊娠中は子どもの唾液や尿に触れたときは、よく手を洗いましょう。また、子供と食器や歯ブラシを共有したり、お子さんの食べ残しを食べたりすることは避けましょう。

【トキソプラズマ】
原因は原虫です。加熱不十分なお肉を食べたり猫の糞で汚染された土に触れた手を介して感染します。

妊娠中、胎児に感染すると、流産等の原因になったり、障がいのある赤ちゃんが生まれることがあります。
お肉は十分に加熱し、生乳等の飲食は避け、自身の健康や赤ちゃんの成長を考えるとバランスよく食べることが大切です。
様々なことに注意を払いながら、健康に妊娠生活を過ごせるように生活を整えていきましょう。

参考：トーチの会

みなさんへ
風しん予防接種費用助成事業をご存じですか？
風しんの症状は、発熱・発疹・リンパ節の腫脹がよくみられ、成人が風しんにかかると症状が重くなることがあります。

また、妊婦さんが感染すると、赤ちゃんの目や耳・心臓に影響する可能性があります。(先天性風しん症候群)
風しんの予防接種を受けたことがない人はぜひご検討ください。

対象者：19歳以上50歳未満の女性
妊娠している女性の配偶者

※妊娠中の女性は受けられません
※接種後2か月は妊娠を避けてください

詳しくは町のHPを
ご覧ください。

